令和２年度　稔ヶ丘高等学校学校運営連絡協議会実施報告書

１　組織

（１）都立稔ヶ丘高等学校　学校運営連絡協議会　（定時制課程）

（２）事務局の構成　教務部主任＝事務局長

（３）内部委員の構成

校長、副校長（２名）、経営企画室長、教務部主任、生徒相談部主任、保健相談部主任、キャリア教育部主任、年次主任代表（４名）　計１２名

（４）協議委員の構成

学識経験者（大学教授１名・准教授１名）、保護者代表（１名）、近隣町会長、近隣青少年育成委員会委員長、近隣消防署長、近隣中学校長、近隣幼稚園園長　計８名

２　令和２年度学校運営連絡協議会の概要

（１）学校運営連絡協議会（第１回から第３回）の開催日時、出席者、内容、その他

第１回　令和２年７月１２日（金）内部委員９名　協議委員７名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営報告、学校経営計画、本校の現状と課題等説明、授業見学、意見交換

第２回　令和２年１２月１８日（木）内部委員９名　協議委員５名
授業見学、これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議

第３回　令和３年３月１０日（水）内部委員１２名　協議委員６名
授業見学、学校評価の結果考察・意見交換、本校の現状と課題等説明、意見交換

（２）評価委員会の開催日時会場、出席者、内容、その他

第１回　令和２年７月１２日（金）内部委員９名　協議委員７名
学校評価の基本方針の確認
今年度の学校評価の観点・項目

第２回　令和２年１２月１８日（金）内部委員９名　協議委員５名
学校評価アンケートの内容について検討

第３回　令和３年３月１０日（水）内部委員１１名　協議委員６名
学校評価アンケートの結果について考察・意見交換

３　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（１）学校評価の観点

「教育活動への理解」「学校生活への理解」「生徒の成長に対する実感」の観点で実施する。

（２）アンケート調査の実施時期

- １月　全校生徒　対象：716 人　回収：444 人　回収率：62％
- １月　保護者全員　対象：714 人　回収：203 人　回収率：28％
- １月　地域・住民　回収：60 人
- １月　教員　対象：64 人　回収：52 人　回収率：81％

（３）主な評価項目

学校生活、生活指導、学習指導、本校の特色ある学校設定科目、施設・設備、相談、選択科目、特別活動

（４）評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

・保護者からは、全般的に肯定的な回答が多い。

・70％以上の生徒が「選択科目の多様さ」「友人関係」「担任との関係」「教科の先生の教え方」「文化祭」「生活のルール」を評価しており「本校に入学してよかった」と感じている。

・「授業以外での自習」に取り組んでいる生徒は約半分、「自校に誇りを持って話せる」生徒も約半分である。

・地域の方々は、本校を支援しようという回答が多い。

（５）評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言内容）

・授業実践の教員研修の取り組みに対して、ルーブリック評価について、全教員で取り組み、実践報告会を実施。一定の成果が見られた。

・生徒の家庭学習の定着に向けて学校全体で継続的に指導が必要。

４　学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・アンケート全体を通じて肯定的な回答が多い。保護者より、子どもが学校に通えることに対する感謝の声が多く、保護者の評価が高い。生徒及び保護者とも本校の教育に対し、一定の満足感がある。

・授業見学では、以前には感じなかった柔らかなあたたかい空気感のなかで、生徒がはぐくまれていて、よい方向に動いてきている。今求められている個別指導の最適化ができていると感じ取れて心強い。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

コロナ禍の中、今後の課題として、下記の事項が課題として取り上げられた。

・オンラインを望む声（生徒・保護者）

・換気による教室内が夏は暑過ぎる、冬は寒すぎる（おもに生徒）

・保護者会や学校公開などが中止になり、保護者と教員、保護者同士の交流の機会を望む声（保護者）

・学校の様子をもっと知りたいという声（保護者）

学校評価で保護者が学校の発信不足を感じるのはどの学校でも同じだが、ツイッター等でもっと頻繁な発信があってもよい。

・　生徒が地域の活動（お祭りなど）に生徒の参加を望む声（地域）

・ルーブリックが単元ごとに子供にどのように開示されているかを考えてほしい。（外部委員）

・コロナ対応としては、対面授業とオンライン授業をハイブリットで同時配信できるようにして欲しい。（外部委員）

・来れていない生徒ほど不安は大きい。心配を取り除く雑談と対話を先生方には心がけてほしい。（外部委員）

・生徒には心が勁くなったと思って卒業できるように。ほめてあげて欲しい。（外部委員）

5　学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項
（学校経営計画へ反映）

（１）学校運営

・Web ページを充実させ、中学校や適応指導教室等に情報を発信し、募集・広報活動の改善・工夫する。

・コロナ禍の対応として、今年度、オンライン授業を実施した。次年度は ICT 化を学校経営計画の柱に据え、強力に推進する。

・令和３年度より、「自立学習」の授業を設置し、都立高等学校通級による指導を本格実施する。

・「みのりゼミ」などを充実させ、ワンランク上の学習活動を促す。

・ALCM コミュニティ指定校として、研究授業や授業公開に取り組む。
特に令和４年度改訂学習指導要領の実施に向け、各教科で検討研究する。

（２）学習指導

・生徒の進路実現に向けて、基礎学力や家庭学習の定着やが求められている。

（３）特別活動

・生徒の実態に合わせ、自主性を育成するため、ホームルーム活動、学校行事及び部活動や委員会の活発化を促進する。

（４）生活指導

・自他のチャレンジを尊重する生活指導を進めるため、校服の着用、頭髪等への生徒指導を継続していく。また、生徒の現状を踏まえた校則について、頭髪や服装等の見直しを検討する。

（５）進路指導

・基礎学力をつけ、進路実現を図り自立した生徒としていく。また、１年次から卒業年次までの一貫した組織的なキャリア教育を確立する。

6　職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び人数

【実績】　職員会議　０回　　延べ０人　　　企画調整会議　０回　延べ０人

【成果】　今年度は、実施しなかったためなし。

7　その他　　特になし